

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	日本国憲法	堀田 学	1 年次	秋

授業のキーワード	国民主権、基本的人権の尊重、平和主義
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本国憲法は、最高法規であるため様々な法律にもその理念が生きています。日本国憲法は、身近な生活にもその理念は活かされています。この授業では、日本国憲法の意義と課題について考えていきます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	新聞・ニュース等に積極的に触れるようにしてください。また、法学概論を履修していることで理解が深まります。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	憲法とは	この授業のオリエンテーションをします。また、憲法と国家の関係について説明します。	第 9 講	国民の権利 および義務 4	参政権について一票の格差の問題を踏まえ説明します。
第 2 講	大日本帝国憲法と日本国憲法	大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を説明します。	第 10 講	新しい人権	憲法制定時に想定していなかった現代の新しい人権について考えていきます。
第 3 講	憲法の法源と解釈	法源と憲法解釈について解説します。	第 11 講	国会	国会の構成と組織、その権能について説明します。
第 4 講	国民主権と象徴天皇制	国民主権と象徴天皇制、国事行為について説明します。	第 12 講	内閣	議院内閣制と内閣組織、その権能について説明します。
第 5 講	平和主義	戦争の放棄、第 9 条について説明します。	第 13 講	裁判所	日本の司法組織と権能について説明します。
第 6 講	国民の権利および義務 1	人権の総説と歴史的展開について説明します。	第 14 講	地方自治	地方自治の本旨と地方自治体の権能・組織について説明します。
第 7 講	国民の権利および義務 2	精神的活動の自由について説明します。	第 15 講	定期試験	
第 8 講	国民の権利および義務 3	経済的自由権について説明します。	評 価 方 法		出席状況（30%）と期末試験（70%）で評価します。
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
伊藤正己『憲法入門〔第4版補訂版〕』有斐閣、2006年 『ポケット六法（平成25年度版）』有斐閣、2012年			小嶋和司・大石眞『憲法概観〔第7版〕』有斐閣、2011年 初宿正典ほか編『目で見える憲法〔第4版〕』有斐閣、2012年 渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法1 人権（第5版）』『憲法2 統治（第5版）』有斐閣、2013年		